



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー

大野 清一

- 会 長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副 会 長 天野 公史
- 副 会 長 鴻 義久
- 幹 事 植田 清司
- 副 幹 事 朝日 達夫
- 会 計 渡 邊 淳
- 副 会 計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン

創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第40週報 No. 1881 2015年(平成27年) 4月24日 第1881回例会記録 5月8日発行

司 会 植田 清司 幹事

点 鐘 山田 正憲 会長

斉 唱 「手に手つないで」

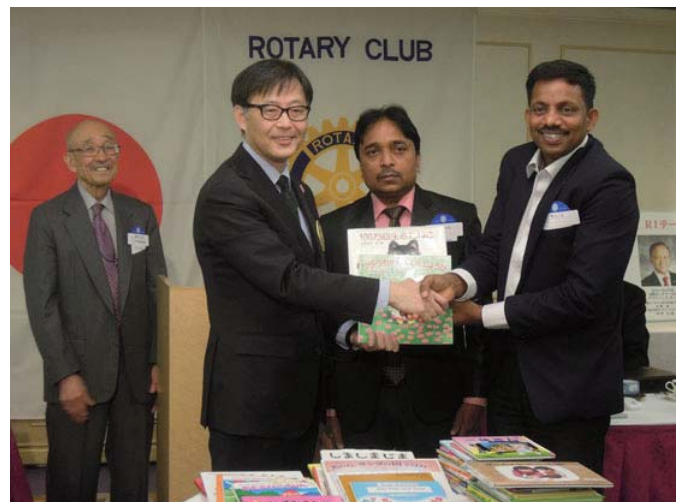
四つのテスト 角田 伯雄 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

- ビルグーン 様 (ゲストスピーカー)
- 竹原 繁男 様 (スピーカー同行・横浜北RC)
- 高橋 敏昭 様 (地区米山奨学委員会 委員長)
- 鈴木 一男 様 (OWOP協会 会長)
- サンパス 様 (スリランカ 北中央州議会議員)
- バンダーラ 様 (スリランカ 北中央州主席大臣秘書)

ビジター紹介 神奈川県 R C 金野 克佐 様

特別行事 翻訳絵本、及び記念品の贈呈



本日〈5月8日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献 立 仔牛のエスカロップ
- ◆ 卓 話 「テレビのおもて話、ウラ話
+ちよっぴり福祉の話」
放送作家 内海 邦一 様
(紹介者 矢野 修二 会員)

<< 本日の B G M >>

「WHAT ARE YOU DOING THE REST OF YOUR LIFE 外」

誕生日祝

山崎 善也 会員（4月29日）

**会長報告**

山田 正憲 会長

・4月度定例理事会報告

幹事報告

植田 清司 幹事

・次週5月1日は休会となります。

出席報告

西山 潔 出席委員長

会員総数	54名	(32+22)名	
出席会員数	38名	(24+14)名	
出席率	82.61%		
ゲスト	6名	ビジター	1名
前回補正後	85.11%	前々回補正後	93.62%

結婚記念日祝

梅崎 興生 会員（5月4日）

**スマイルボックス**

小山 市康 SAA

地区米山奨学委員長 高橋敏昭様（横浜本牧RC） 米山奨学記念事業へのご理解とご協力に感謝して。

横浜北RC 竹原繁男様 良い天気でございます。本日は、卓話のモンゴルの奨学留学生のお供で参りました。創立35周年には、大勢の皆様、ありがとうございました。

神奈川RC 金野克佐様 本日もお世話になります。

山崎善也君 誕生日のお祝い、ありがとうございました。

河野明光君 入会記念日をお祝い頂き、感謝です。

山田正憲君 ①OWOPの鈴木会長、サンパスさん、バンダーラさん、ようこそいらっしゃいました。②ビルグーンさん、本日の卓話、よろしく願います。竹原会長、ありがとうございます。③滬尾RC訪問の皆様、お疲れ様でした。

富居利貞君 月山さん、先日はご苦勞様でした。本日、石川さんには朝よりお付き合い頂きまして、ありがとうございます。

青柳 紀君 卓話に、ビルグーン様をお呼び致しました。感動するお話をお聞き下さい。

岩澤利雄君 ①先日の横山さんのお別れ会、世話人の方、ご苦勞様でした。当日バッグを忘れ、山本ご住職邸に一泊させて頂きました。ありがとうございました。

月山 勇君 ①先日の“故 横山パスト会長を偲ぶ会”ご参加の皆様、お疲れ様でした。横ちゃんも、大好きなビール片手に喜んでいられることでしょう。皆様に、感謝、感謝！②昨日のゴルフコンペ、お疲れ様でした。山本登さん、納得のいかない優勝！おめでとう。

山本 登君 昨日のGolf、お疲れ様でした。

伊東英紀君 赤堀さん、高野山1200年祭にお付き合い頂き、ありがとうございました。

飯田泰之君 鈴木一男様、サンパス様、バンダーラ様、ようこそいらっしゃいました。

入会記念日祝

河野 明光 会員（4月18日）



植田清司君 ①先日4月16日台北滬尾RCを訪れ、姉妹クラブ更新手続き、及び当クラブ40周年記念例会に来訪されるよう、お誘い致しました。②スリランカよりご来場のサンパス様、バンダーラ様、鈴木一男様、ようこそいらっしゃいました。

江森国一君 ①昨日のゴルフコンペ参加の皆様、ありがとうございます。②本日の次年度理事・役員・委員長会議参加の皆様、よろしくお願ひ致します。

西山 潔君 ポール・マッカートニー最高でした。I LOVE ROCK' N ROLL！！

山本芳弘君 ①先日は、赤堀さん、伊東さん、1200年祭お付き合いありがとうございました。②横山さん追悼会ご参加の皆様、ありがとうございました。

須永久一君 先日の台湾、昨日のゴルフとご参加の皆様、大変お世話になりました。

横溝 亘君 台北滬尾RC公式訪問出席の皆様、お疲れ様でした。

赤堀和人君 先週、山本住職の計らいで、高野山開創1200年記念大法会に参加して来ました。出発の新横浜から住職に間違えられ、高野山では数多くの住職から頭を下げられ、高野山のお土産屋の店主から「住職、いつも大変お世話になっております」と言われ、どう返事をして良いやら困りました。山本住職、伊東さん、大変お世話になりました。

白鳥厚夫君 6回目のお願ひですが、「神奈川東RC会員同士のコミュニケーションをより良くし、充実したロータリーライフを送るための調査」の提出を、よろしくお願ひ致します。

加野亮一君 昨日のゴルフコンペ幹事の皆様、ありがとうございます。また、ご参加の皆さん、お疲れ様でした。

岡部雄一郎君 昨日のゴルフ、お疲れ様でした。特に江森さん、朝日さん、ありがとうございます。

小山市康君 台北滬尾RC公式訪問に参加された会員の方々、お疲れ様でした。また、横溝委員長、お世話になりました。



んでした。さらに進むと海辺にいくつかの大きな丘のようなものが見えてきました。よく見るとテレビや冷蔵庫や自動販売機でした。海から打ち上げられた電気製品のごみが種類別に分けられて山になっていたのです。ものすごい量でした。震災の時にたった一日でゴミとなったものは、その町の20年分のごみの量と同じだそうです。そのゴミを一年半の間片づけ続けていると聞きました。私は心が苦しくなりました。

モンゴルのテレビで見た震災後の被災地はとてもひどい状態でした。でも私が訪れた時の風景はそうではありませんでした。確かに震災前の面影は全くありませんでしたが、これから新しい町が作られるところのように整備が進められていました。

たった一日で家族、恋人、家、ふるさと、自分のすべてを失った人々が町の復興のために一生懸命ごみを片付けて、町を再建しようとしているのです。私はこの国の国民はなんて立派なんだろうと感激しました。そしてその光景を深く心に刻みました。「がんばれニッポン！また来るね」と心の中でいい、帰国しました。大学を卒業したら必ずまた日本に来ようと強く思いました。

自然災害がほとんどないモンゴルの人々にとって、日本で起きた大震災が当時たいへん恐ろしい出来事でした。私が帰国した時も、日本への不安が高まっていた時期でした。でも私は大震災が起きても負けないで粘り強くがんばっている日本人のことをずっと応援していました。

昨年の4月、あの日岩手県で決心した通り、また日本へ来ました。今は朝日新聞奨学生として、新聞配達をしながら日本語の勉強をさせてもらっています。将来はモンゴルで日本語教育を広げていきたいと思っています。そしていつか、岩手県の子供とモンゴルの子供が交流できる機関を作りたいです。モンゴルの子供たちを岩手県に連れて行ったり、岩手県の子供たちをモンゴルへ招待したりしたいです。未来を担う子供たちが小さいころから友達になってお互いの国が協力していける基礎を作りたいです。

震災から4年が経ちました。日本は今なお復興に向けて頑張っています。被災地の人々の悲しみは決して消えることはないと思います。それでも未来へ向かって確実に前進しています。そんなたくましい日本とともに、私も一步一步前に進み、今の私のこの夢が現実になる未来を手に入れるために頑張ります。

4月24日	24件	61,500円
本年度累計		1,953,640円

卓 話

「未来へ日本と共に」

モンゴルからの留学生 ビルグーン 様
(紹介者 青柳 紀 会員)

私は大学3年生の時、初めて日本に来ました。モンゴルの大学で日本語を専攻していた私は、青年交流プログラムに参加して日本に来ました。そして、東日本大震災が起きた場所の一つ、岩手県を訪れました。そこはひっそりと静かなところでした。

私は「SANRIKU」という地元の列車に乗って岩手県の海辺を走りました。建物も少なく、人の姿もほとんど見当たりませんでした。

地元の人に津波が来る前の写真を見せてもらうとそこには賑やかそうな素敵な街が写っていて、あまりにも違う風景が信じられませ

次年度理事・役員・委員長会議開催

4月24日（金）、キャメロットにて次年度理事・役員・委員長会議が開催されました。



ロータリーニュース

包括的な教育支援をめざして

米国（メイン州）のケネバンクポートサイド・ロータリークラブは、2年前、インドとパキスタンの国境近くにある町、ピーカーネールで学校支援の活動を始めました。

ピーカーネールを選んだのは、会員の1人であるローヒット・メータさんが現地の出身であり、知り合いがいたからです。現地のロータリー会員と連絡を取り、早速、4つの公立学校に机を提供することになりました。

新しい補助金をきっかけに

最初の寄贈の後、もっと多くの机が必要だと要請を受けたクラブは、もっと大きな構想を練る必要に迫られました。ロータリー財団の新しいグローバル補助金を利用するには、物品購入だけでなく、根本的な問題に取り組むことが条件となっていたからです。会員たちは知恵を寄せ合い、机の寄贈というシンプルなプロジェクトから、多くの子どもに教育の機会を与え、教員研修も行うという大きなプロジェクトを立案しました。

「新しい補助金の要件を満たすには、さらに踏み込んだ検討が必要でした。おかげで、結果的には質の高いプロジェクトとなりました」と話すのは、ロータリー第7780地区（メイン州を含む）のロータリー財団委員長、ピーター・ジョンソンさんです。「インドの学校に机を寄贈するのはよいが、そこから次に何をすべきだろうか、と突き詰めて考えるいい機会になりました。新しい補助金要件が、プロジェクトの範囲や趣旨をさらに拡大させることにつながったのです」

入念な現地調査に基づくプロジェクト

プロジェクトの始動に貢献したメータさんは、故郷を助けるこの補助金プロジェクトに心から感謝しています。

「故郷のロータリアンたちと一緒に何か活動ができれば、と考えたのがはじまりでした」。

プロジェクトの範囲を広げる中で、いくつかの課題に直面したものの、その過程でいつも、現地の人びとが協力してくれました。「現地の人は辛抱強く、必要な情報を集めたり、リクエストに応えてくれました。あきらめず、グローバル補助金の要件を満たせるよう最善を尽くしました」

米国からインドを訪れ、現地の学校を視察したロータリー会員、コーネリア・ストックマンさんは、プロジェクトの計画にあたって、地域の現状を調べました。裕福な家庭は机や教室の整った私立学校に子どもを通わせていますが、それとは対照的に、公立学校では資金不足のため、生徒たちが地べたに座って授業を受けています。義務教育は小学校までとなっており、公立学校にも机があれば、もっと多くの生徒が学校に通い続けるだろうと地元の教育専門家は話します。

より大きな成果を

インドと米国のロータリークラブのほか、学校関係者、地域社会のリーダーも集まって、学校管理委員会を結成し、各校が何を一番必要としているか話し合いました。通学していない子どもがたくさんおり、中には一度も学校に通ったことのない子どももいることがわかったと、通学日を週3日制に変更。こうして通いやすい体制を整えたほか、授業のない日は先生が机を使って教授法の研修を受けることになりました。

「公立学校の先生たちは十分な資格を持っていますが、指導要項の枠内だけで授業をしていました」と話すマン・モーハン・カルヤニさん（プロジェクトリーダーを務めるロータリー会員）。

「指導要項に書かれたこと以外にも、生徒の総合的な成長に必要なことはたくさんあります。そこで、生徒だけでなく先生もサポートすることにしたんです」

グローバル補助金では、生徒1,685人分の机を提供します。また教員240人に研修を行って、基本科目以外にも、生徒が自信をつけ、リーダーシップスキルやコミュニケーションスキルを身に付けられるような授業方法を教えました。前回の机の寄贈だけで、生徒の成績を23パーセント上げることに成功しており、今回のグローバル補助金プロジェクトではさらに高い成果が期待されています。

ロータリーニュース

次回《5月15日》の卓話予定

テーマ 「中国で進められている反汚職腐敗闘争は成功するか？

・・・『蠅も、虎も同時に叩く』の実情」

拓殖大学名誉教授 茅原 郁生 様

（紹介者 金森 欣一 会員）